

# AGR NEWS

Vol. **46**



花園ラグビー場



**誇り高く明日へ。**

**“With Pride, Beyond Yourself”**

## 高等部ラグビー部



### 「人とボールが動くラグビー」で更なる高みを目指す 高等部ラグビー。

高等部監督 依田 賢人氏

日頃から高等部ラグビー部をサポートいただき、誠にありがとうございます。

2024年度は児島キャプテンがチームの先頭に立ち、1年間全力で取り組んできました。春季大会で古豪・本郷高校に善戦したことで自信をつけ、夏合宿や四校戦を通じて真摯にラグビーと向き合うことで大きく成長を遂げました。秋の全国大会(花園)を目指した東京都予選では、試合前の部歌で心をひとつにし、前年度優勝チームである早稲田実業高校に対しベスト4をかけて真っ向勝負を挑みました。惜しくも敗れはしたものの、決して逃げることなく体を張り続けた学生たちの姿は、応援に駆けつけてくださったOB・OG・保護者や先生方の心に焼き付いていると思います。

そして、2025年度シーズンは、井部キャプテンを中心に選手16名(1年8名、2年8名)、マネジャー1名(2年)計17名で新たにスタートしております。

東京都新人大会は、予選リーグ2勝1敗(不戦敗)と惜しくも決勝トーナメントに進出できませんでしたが、前年度をベースに地道に取り組んできた基礎練習とウエイトトレーニングの成果が見られ、春に繋がる大会となりました。少数精鋭で、学生たちは「シード校に勝ち、ベスト8になること」を目標に日々全力でラグビーに向き合い鍛錬を重ねております。引き続き、高等部ラグビー部へのご声援、ご支援を何卒よろしくお願いいたします。

最後に、更なる連携を図りレベルアップするために「中等部・高等部6年間で目指すラグビースタイル」を中等部・高等部の両コーチ陣で議論を重ね策定しました。以下のラグビースタイルを基準として、学生たちと一緒に、長期的に強く、魅力あるクラブを目指していきたいと思います。

「人とボールが動くラグビー」  
Dynamic Movement  
力強く、激しく、大胆に!

グラウンドを大きく使い、常に動き、サポートし合い、  
数的優位な状況・手薄なスペースを作り出していく。  
皆でボールをつなぎ合って、トライを取りに行く。  
皆で前に出て、ボールを奪いに行く。  
ワクワクするようなラグビーを!

### 2024年シーズン戦績

#### ■2024(R6)年度 全国高校総合体育大会 東京都予選 第二地区

- ▶ 9/15(日) 青山学院 71 - 0 都立粕江高校
- ▶ 9/23(月) 青山学院 50 - 7 玉川学園高校
- ▶ 10/20(日) 青山学院 14 - 67 早稲田実業高校



早稲田実業戦



早稲田実業戦



早稲田実業戦



早稲田実業戦

#### 新体制

- ・監督: 依田
- ・BKコーチ: 世継 栄太、伊藤 真、中村 匠
- ・FWコーチ: 渡邊 将也、伊藤 悠
- ・トレーナー: 宮田 雄亮

## 中等部ラグビー部



### 新しい歴史の扉を開いた、中等部ラグビー部。

中等部監督 綿井 浩介氏

2024年度の新チームは、新3年生8名、新2年生13名で新人戦からスタートしました。新人戦・春季大会と善戦はするもののベスト8の壁は高く(ケガなどでベストメンバーを組むことが出来なかったこともあり)、中等部本来の力が発揮出来ず悔しい思いを経験しました。春からは1年生8名も加わり、春の悔しさを糧にして、自分たちの課題を真摯に受け止め、日々の練習や夏合宿においても部員全員が全力でラグビーに取り組みました。その努力の成果として、秋季大会では予選リーグ3戦全勝で決勝トーナメントに進み、もう一歩でベスト8の壁を崩せるところまで選手たちは成長する事が出来ました。

この成長には、3年生8名が自ら率先してリーダーシップを発揮し、部全体の雰囲気盛り上げた事が大きな要因であったと感じております。そして、それに呼応した下級生も自覚を持ってラグビーと向き合いました。これまでより一層、部員全員が同じ熱量で勝利を目指して進むことができるようになり、チームとしてのレベルが飛躍的に上がったと思います。

新たな歴史の一歩を踏み出した中等部ラグビー部、2025年度も更に成長し続け、更なる高みを目指し、勝利という結果にもこだわって戦い続けます!

今後とも、中等部ラグビー部へのご支援ご声援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 2024年シーズン戦績

#### ■2024(R6)年度 東京都中学校春季ラグビーフットボール大会I部

- 予選 ……
- ▶ 4/14(日) 中等部 63 - 15 学習院中
  - ▶ 4/21(日) 中等部 26 - 28 成蹊中
  - ▶ 4/28(日) 中等部 7 - 85 明大中野中
- 決勝  
トーナメント
- ▶ 5/ 3(金) 中等部 19 - 68 早稲田実業

#### ■2024(R6)年度 東京都中学校ラグビー秋季大会

- 予選 ……
- ▶ 9/ 8(日) 中等部 43 - 22 城北中
  - ▶ 9/15(日) 中等部 21 - 14 聖朝帝連合
  - ▶ 9/22(日) 中等部 71 - 0 駒東麻開連合
- 決勝  
トーナメント
- ▶ 10/ 6(日) 中等部 21 - 21 早稲田実業  
(※抽選敗退)



聖朝連合戦



聖朝連合戦

## ALL青山ラグビー祭



ALL青山ラグビー祭を開催することができました!!近年の各カテゴリの公式戦スケジュールの都合から、ウィズコロナに移行したものの、ラグビー祭の開催には大きな課題がありました。開催に当たっては、各カテゴリのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

5年ぶりの開催となる今回は、大学ラグビー部員が実行委員を務め、打合せの段階から当日の運営までリーダーシップを発揮して取り組んでくれました。全員での準備体操から始まり、大学生がリー

### 2025年も開催決定!

日程 6月22日(日) 13:00~15:00  
場所 青山学院大学緑が丘グラウンド ※施設内の駐輪・駐車は不可  
オール青山ラグビー祭は青山学院全体のラグビー部の交流と親睦を深めるお祭りです。  
皆様のご来場をお待ちしております。

新たに発足した「OBクラブチーム」の記念試合を開催  
同日12:00~13:00に行われます。  
詳しくは、P5下段に記載の「今後の予定」をご確認ください。

ダーとなって、ラグビーのスキルや魅力を丁寧にコーチングしてコミュニケーションをとりました。ラストは、メインイベントとして初等部から大学生の混合リレーを行いました。参加した方々の大きな声援と多くの笑顔に、グラウンドは大いに盛り上がりました。

どうぞ皆様もぜひ、グラウンドにお越しいただき、共にALL青山ラグビーの強みである一体感を感じていただければと思います。

42期 沖永リサ



## ▶カナダチームとの交流 Shawnigan lake schoolと高等部ラグビー部が国際交流試合を開催しました

カナダ・ショウニガンレイクスクールと高等部ラグビー部が国際交流試合を行いました。カナダBC州で優勝経験がある創部97年の強豪チームに対し、新チーム主体で臨んだ高等部。体格が一回り以上も大きな選手相手に対し、前半はスムーズな展開ができず苦戦を強いられましたが、選手は我慢強くタックルし続け、初めての国際試合に応援にも力が入り、大いに盛り上りをみせました。後半からは卒部する3年生を投入したことで、スピード感も上がり、エネルギーに溢れたプレーで連続トライに繋がりました。最終スコアは14(2T2G) - 29(5T2G)。ノーサイドを迎えた彼らは互いを称え合い、晴れやかな表情でいっぱいでした。



### アフターマッチ ファンクション

試合後には選手・スタッフ・父母会・OB会が一同に集い、交流の機会が設けられました。高等部キャプテン児島君は試合を振り返り「ゲームを通じてフィジカルのタフさとカナダチームの紳士的なふるまいを感じた」とスピーチし、カナダチームからは「青学のタックルの低さや外展開の素早さを見習いたい」と称えていただきました。その後、記念撮影や部歌の斉唱とエールを送りあうなど、盛況のうちにファンクションを終えました。



## ▶マスターズ花園

マスターズ花園は、東大阪市花園ラグビー場を舞台に「さあ、もう一度花園へ。」を合言葉にした高校ラグビーOBチームの交流大会として、2022年に始まりました。

私(國定(旧姓梅木)精豪・30期)は、2022年に行われた初回大会に出場した秋田工業高校の助っ人として参加したことがきっかけで、是非、母校である青山学院のOBチームで参加したいと思い、同期の仲間に相談したところ「よし行こう!」と賛同を得て、参加者を募ったところ幅広い年代の協力があり、2023年と2024年の2年連続で参加することができました。

我が高等部ラグビー部は、東京都予選の決勝進出6回ながら、未だその壁を破れず現役の出場は実現できていません。まずはOBが花園の地で戦い、これが現役の花園出場につながれば、という願いもあります。この大会は「もう一度花園へ」とありますが、花園出場の有無は関係なく参加が可能です。早く現役が花園に出場したことがあるOBチームとして参加したいと思うばかりです。

なお、これも残念ながら2年ともに接戦を繰り広げたものの、未だ「花園1勝」は手にしていません。 30期 国定精豪



### OBクラブチーム 発足!

現役の応援はいつも楽しみですが、自分でのプレーはもっと楽しい! 世代を超えたAGRの仲間と一緒に楕円球を追いかけ、豊かな人生を送りましょう!  
※絶賛クラブメンバー募集中!! 担当:OB会 赤松 mii.capricorn@gmail.com または公式FacebookよりDMをお送りください。

## さあ、再び菅平へ。 VICTORY MEET, SUGADAIRA AGAIN

中等部、高等部ともに昨年に引き続き2024年も菅平合宿を無事開催。現役との交流の場「VICTORY MEET」へ大勢のOB・OGの方にご参加いただきました。



### ▶青山学院大学ラグビー部が全国大学選手権に出場

大学ラグビー部は2024年度の対抗戦を5位で終え、1994年以来、実に30年ぶりとなる大学選手権出場を勝ち取りました。

12月14日、和歌山県紀三井寺公園陸上競技場にて、小雨降りしきる寒空の下、伝統の黒ジャージを着た青学フィフティーンが試合に臨みました。リザーブを含めメンバー全員が「勝利」という一つの目標を目指す姿は、高揚感と新たなステージへの挑戦に向けた緊迫感に満ち溢れ、とても輝いて見えました。

今回の遠征には東京からの応援団、近隣

地域から駆けつけたOB・OGたちに加え、現役部員・スタッフも全員帯同し、スタンドはAGRへの熱い声援で一つになりました。相手は選手権常連校の強豪・京都産業大学。試合結果は7対66と、残念ながら勝利には届きませんでしたが、この一歩は必ず今後引き継がれ、大学ラグビー部の更なる発展の礎になる事を信じてやみません。

この大学生の頑張りが高等部・中等部の部員たちへの良い刺激となり、ALL青山のラグビー部全体が盛り上がっていく事を心から期待しています。 35期 井口千晶

### ▶大学ラグビー部 創部100周年記念

お祝いいただいた皆様に御礼申し上げます。



創部95周年の節目の会としてキックオフサローネを開催いたします。中等部、高等部ともに着実に力をつけ、2024年度の秋季大会では中等部が見事予選Fブロックを1位で通過し、決勝トーナメントに進出しました。しかし、トーナメント1回戦で早稲田実業相手に同点で試合を終えました。抽選の結果、残念ながら2回戦への権利を早稲田実業に渡す結果となりました。

高等部は花園予選(東京都大会第二地区)において、久しぶりにベスト8進出となりました。しかし高等部もまた早稲田実業に準決勝進出を阻まれる結果となりました。

私たち青山学院ラグビー部は長い歴史と伝統を持つチームであり、強い絆で結束したOB・OGが応援してくれることが、現役選手たちの励みになることは間違いないでしょう。OB・OGの皆様には是非、キックオフサローネへ足を運んでいただき、昔の仲間との旧交を温めつつ、現役世代と現役世代を支える顧問の先生方、監督、コーチ陣へのエールを贈っていただきたいと思います。

ご多忙とは思いますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

式 典 概 要	1. 開催日時：2025年 6月28日 土曜日 15:00～	…………… プログラム ……………
	2. 開催場所：アイビーホール青学会館3階 シノノメの間 (東京都渋谷区渋谷4-4-25) TEL:03-3409-8187	
	3. 会 費：50期まで……………10,000円 51期以降およびOG……………5,000円 学生……………無料 } 当日お持ちください	
		① 95周年記念式典 ② 高等部藤井先生(顧問)、 高等部中久木先生(顧問)の お疲れ様会 ③ クラブチーム発足のお知らせ

退任のことは

高等部ラグビー部顧問 藤井徹也先生

月日が経つのは早いものです。高等部ラグビー部の顧問としての25年間は、夢のように過ぎ去りました。着任当時、不安だった私は「プレーのみならず、社会人としても手本となる指導者をOB会として派遣させていただく」という、川合OB会長(当時)のお言葉を聞き心強く感じたことを思い出します。また「ラグビーを通じて社会に貢献できる若者の育成」という点でも、我々教員の手の届かないところを補っていただきました。OB会のご協力を得ることで、高等部の中でAGRが確たる伝統を築き上げてこられたのだと、心から感謝しています。

英国のパブリックスクールでは、教育のツールとしてラグビーが活用されてきましたが、高等部ではこの学びが部活動という生徒の自主活動に委ねられているために、多くの方々のお支えを必要とし、成り立っている点にも美しさを感じました。これからも、このAGRのスタイルにこだわりつつ、花園出場の夢を追いかけ続ける部員たちへのご支援をお願いしたく存じます。退任にあたり、あらためて25年間の熱い夢を共に追いかけた日々を振り返る時、OB会への感謝の念がとめどなく溢れてまいります。本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。



今後の予定

6月：高等部ラグビー部創部95周年 & 高中部ラグビー部OB会50周年記念試合

日程 6月22日(日) 12:00～13:00 場所 青山学院大学緑が丘グラウンド

早稲田大学高等学院OBチームを招いて記念試合を実施することにいたしました。40歳以上チーム、56～60歳以上チームの2カテゴリーでの試合を予定しています。OBの皆さんのご参加をお待ちしています。

当日はOB戦の後にオール青山ラグビー祭が開催され、初等部から大学までの現役ラグビー部が集まって交流を深めることになっていますので、現役の応援もよろしく願います。詳しくはP02下段をご確認ください。

8月：中・高等部菅平夏合宿(Victory Meet&BBQ)

・高等部夏合宿 日程 7月31日(木)～8月4日(月)の4泊5日(予定) ・中等部夏合宿 日程 7月25日(金)～7月28日(月)の3泊4日(予定)  
宿泊地 菅平高原プラザホテル 宿泊地 菅平国際ホテルベルニナ

2025年も菅平で夏合宿を実施する予定です。高等部合宿では「2025 Victory Meet」も8月3日(日)に開催予定です。また、例年同様、OBの皆さんが楽しみにしている恒例のBBQ大会を今年も開催します。暑い夏に更なる熱を注入し、中等部・高等部の更なる発展を願います！ ※合宿日程は、変更の可能性があります！日程が変更となった場合は、改めてSNS等でご案内します。

10月：マスターズ花園

今年もマスターズ花園への参加を検討しています。走りに自信はないけど、気持ちは現役。飲み会だけでも参加したいなど、皆さんの思いを集めて、聖地「花園」へ行きましょう！ ※各詳細は別途ご案内いたします。

コアラーズ～中等部～高等部～大学 そしてOB・OGの皆様へ

ALL青山委員会 委員長 杉山 公信(35期)

本委員会は、初等部～大学までのラグビー部の交流と、そのつながりをより強くする為に出来ることを行うという目的を持ち活動しています。中高OB・OG会の他に、大学のOB・OG会や初等部コアラーズブレンチもありますし、それぞれが素晴らしい活動を行っています。更には酒井直人先輩を中心とした方々が長年ご尽力されている「オール青山連絡会」により、様々な情報交換会や、ラグビー祭を始めとする全体交流が行われてきました。本委員会としては、すでに活動されているそれぞれの姿を活かしつ

つ、より良い形でご協力を行いながら、少しでも多くの現役ラグビー・マネージャー達がオール青山の繋がりの素晴らしさを感じ、いずれOB・OGになった時には、今度はその立場で現役支援に自然に取り組みめるような流れを作ることを目指して活動してまいります。とはいえ、副委員長の沖永リサさんには頼りっぱなしではあるのが正直なところではあります…。彼女の人脈と情熱のおかげで、本委員会は動いています！紙面を借りて改めて感謝申し上げます。2025年度も、本委員会へのご理解とご協力をよろしく願いたします。

総務委員会報告

総務委員会 委員長 総田 茂昭(32期)

高・中ラグビー部OB・OGの皆様、日頃のお支え誠にありがとうございます。総務委員会から、2024年度の収支決算についてご報告させていただきます。

ご存知のように、OB会の活動は皆さまからの貴重なご寄付により運営されています。2024年度の寄付金の状況ですが、57名と1団体(41期有志)の方々(ご芳名を下記)から、合計で118万円のご寄付をいただきました。

また近年、特にコロナ禍明け以降は、イベントの度に各種グッズを作成・販売させていただき、OB・OG各位やご父兄にご購入いただくことにより収入の補填としております。2024年度では、オール青山ラグビー祭、夏合宿、大学同窓会で出店の機会があり、¥791,500の収入を得ることができました。次年度以降も、現役サポートという趣旨にご賛同いただき、ご理解とご協力をいただきますよう、重ねてお願いいたします。

2024年度の主な支出は以下の通りです。

- ¥360,000……メンタルコーチ代金
- ¥309,220……夏合宿コーチ宿泊代・交通費(昨年258,614)
- ¥225,802……中等部公式戦用黒ジャージ
- ¥189,068……卒業生記念盾
- ¥143,000……ウェブサイト管理維持費
- ¥141,680……春合宿コーチ宿泊代
- ¥111,309……AGR News 印刷費
- ¥81,565……高等部試合撮影用ビデオカムコーダー

2024年度寄付者ご芳名(期 氏名 敬称略)  
9期:栗田錦也、細田洋、11期:越塩邦弘、12期:上住忠彦、川出国靖、西川和夫、大泉弘(サッカー部OB)、14期:岡本敬子、斉藤和夫、伊藤隆一、15期:川合友文、鈴木徹、16期:松岡康郎、向坂晴久、17期:内山勝、20期:山田忠、横井康二、24期:東靖雄、木林洋篤、白石義也、辻信哉、村上典子、27期:尾之内蔵夫、田中浩明、三本靖広、29期:杉本泰昭、矢澤亜矢子、30期:市瀬和敏、俣野文彦、宮川祐一、31期:林ありさ、32期:小村峰之、総田茂昭、倉並宏保、33期:鈴木成明、佐藤英成、平野剛志、田中次織、鳥居本雄介、藤崎忍、岩本康哉、樋口賢二、関口誠、34期:野口功一、勝田夏生、藤枝正和、板倉修一、35期:杉山公信、赤松實、38期:佐藤潤一、41期:有志(個人名無し)、42期:沖永リサ、45期:池田裕樹、53期:東雄丸、57期:東雄士、メンタルコーチ 中村貴之



グッズ販売(ラグビー祭)



グッズ販売(高等部夏合宿)



OB・OG観戦の様子(高等部夏合宿)

●OB・OG各位の善意はこちらまで

- ◎ みずほ銀行 銀座中央支店(店番号:125) 普通 1292627 青山学院高中部ラグビー部OB会
- ◎ 校友会ホームページ経由 クレジットカードほか対応  
https://alumniayama.stores.jp/items/67a4263416b7bc002ac11d99

寄付はこちらから▼



## 気高き、通過点。

会長 小村 峰之 [旧姓 郷内]

まず初めに、生徒たちの部活動に対して、日頃から献身的にご尽力いただいているOB・OGの皆様に、心から深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。

さて、ことしは創部95周年を迎えます。長い時間をかけて培われた伝統を継承するとともに、新しいベクトルの胎動を感じながら、私たちOB会も昨年来から熟成の時を育み、雄々しいまでに進化を遂げています。その原動力がOBの皆様の意識変化です。夏合宿でのご支援や全国大会・花園に向けた東京都予選での熱いご声援。そして2年連続出場したマスターズ花園でラグビーの楽しみを再確認したOBが再結集するためのステージにしようとして結成された「クラブチーム」活動。このすべてが調和した姿が、OB会ならではの「ノブレス オブリージュ」であり、豊かなクラブライフの象徴なのです。

[社会的に地位のある人には、社会的な義務が伴う]が意味するように、先輩が後輩を気にかけること、支援することは立派な社会貢献であり、OB会に所属するクラブマンとして、気高い精神であると思っている次第です。そして私たちがこの意識を育み、身につけることで、OB会はもっと大きく、もっと魅力的になると信じています。

いまは2030年に迎える「高中部ラグビー部創部100周年」の通過点です。青学ラグビー一部が走ってきた道も、これから走る道も、まったく同じ一本の道。時間を止めることなく、前向きに、そして現役部員とOB会が両輪となって、ひとりでも多くのご支援をいただきながら、100周年を笑顔で迎える推進力になりたいと願っています。これからも引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集  
後記

2024年度は高等部・中等部ともにいい戦績を残せた年度となりました。さらに応援・夏合宿・マスターズ花園など大勢のOB・OGの皆さんが集うことができた感謝の年となりました。今回の46号は各イベントに参加できなかったOB・OGの皆様に伝えるように制作させていただきました。私たちの思いを乗せた「AGR NEWS46号」をお楽しみいただければ幸いです。

## みんなで楽しくつながろう！ 青山学院高中部ラグビー部OB会

試合結果などの最新情報をお知らせするほか、懇親会企画などについても、こちらでご案内させていただきます。現役へのご支援もLINE公式アカウントで受付けていますので、よろしくお願いいたします。OB・OG、現役の学生、保護者や関係者の皆様へ、ラグビー部に関する情報を発信いたしますので、是非、ご登録/フォローしてください！



LINE  
公式アカウント



<https://page.line.me/?accountId=937keaoa>



Facebook  
公式アカウント



<https://www.facebook.com/agr.h.j.1975/>